

平成29年度 学校教育自己診断アンケート結果

◎生徒アンケート（全学年）

数値は%

A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

No	質問項目	A+B	C+D	E
1	学校へ行くのが楽しい。	77	18	1
2	この学校には、他の学校にはない特色がある。	58	25	14
3	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	72	19	6
4	授業は分かりやすく楽しい。	65	29	3
5	実験、観察、実習や校外へ見学に行く機会がよくある。	42	49	5
6	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	79	15	3
7	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい。	66	26	5
8	評価の仕方や基準について、事前に示されている。	89	5	3
9	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	60	25	12
10	先生はいじめなど困っていることについて真剣に対応してくれる。	68	13	15
11	生活・学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	75	11	10
12	体育大会は楽しく行えるように工夫されている。	75	17	4
13	生徒会活動は活発である。	74	12	12
14	部活動に積極的に取り組んでいる。	81	7	6
15	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	88	5	2
16	人権について学ぶ機会がある。	82	9	5
17	環境、国際理解、福祉などについて学習する機会がある。	80	11	5
18	先生は、責任を持って、授業やその他の仕事に当たっている。	75	11	8
19	事件や災害発生時に、どう行動したらよいか、知らされている。	87	7	2
20	視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある。	58	32	5
21	授業などでコンピュータを活用している。	69	22	5
22	地域の活動に積極的に参加している。	33	52	11
23	授業や部活動などで、他の小中学校や幼稚園などとの交流がある。	41	43	11
24	校長先生の話や考えは、理解できている。	62	26	8
25	夢や希望があり、実現のために努力している。	69	19	8

【概要】

- ・学校へ行くのが楽しいと感じている生徒が多い。 ・命の大切さ、社会のルール、人権について学ぶ機会が多いと感じている。 ・部活動には積極的に参加しているが、地域活動にはあまり参加できていない。
- ・実験、観察、実習、校外への見学については、その機会が少ないと感じている。

【今後の取組み】

- ・授業のめあてや目標を明確にして、わかりやすい授業の提供に努力する。 ・実験や実習など、体験的な学習を多く取り入れ、好奇心を高める授業を創造する。 ・保幼小中連携教育を推進し、他校種の学校園との交流を図る。 ・視聴覚機器やICT機器を取り入れた効果的な指導方法の研究に努める。
- ・個々の生徒に寄り添い、学習面、生活面の悩みや相談などに親身になって対応する。

平成29年度 学校教育自己診断アンケート結果

◎保護者アンケート（全学年）

数値は%

A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

No	質問項目	A+B	C+D	E
1	子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	80	17	1
2	学校は、他の学校にない特色のある教育活動に取り組んでいる。	30	50	17
3	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	49	36	11
4	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	45	46	6
5	先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。	65	23	8
6	学校は、保護者の相談に応じてくれる。	71	16	9
7	先生は子どもの間違った行動を厳しく指導してくれる。	75	15	6
8	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	67	18	11
9	学校の生徒指導の方針は、保護者に示されている。	49	33	14
10	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	45	32	19
11	進路指導で、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	39	37	21
12	生徒会活動は活発である。	52	20	24
13	学校は生命尊重の心や社会のルールを守る態度を大切にしている。	73	11	11
14	学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	65	16	13
15	先生は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	56	23	15
16	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	26	27	42
17	保護者や地域の人々が授業を参観する機会を設けている。	88	5	2
18	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	83	9	3
19	学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	63	25	6
20	学校は保護者や地域の人達と話をする機会を設けている。	48	30	18
21	P T A 活動には参加しやすい。	44	35	14
22	学校は、支援学級や他校種の学校との交流の機会を設けている。	28	30	35
23	部活動は活発である。	82	10	2
24	災害時の行動マニュアルなどの対応が知らされている。	60	19	15
25	学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる。	61	28	6

【概要】

- ・子どもが学校に行くのを楽しみにしていると感じている保護者が多い。
- ・わかりやすい授業の提供では、さらなる向上が求められる。
- ・部活動は活発であると認識されている。
- ・「わからない」の回答値が高い質問がいくつか見られ、学校の様々な教育活動に対する周知、理解が深まっていない。

【今後の取組み】

- ・授業改善に取り組み、魅力的で確かな学力の定着に向けた授業づくりを推進する。
- ・学校・学年通信、ホームページなどで学校の情報は発信しているが、さらに内容を充実させ、多くの保護者に見ていただける努力をする。
- ・進路指導を含むキャリア教育、保幼小中連携教育をさらに推進する。
- ・人権が尊重され、いじめや暴力のない安定した学校づくりに全教職員で取り組んでいく。